

ミュージックアーティスト科

音楽基礎A4

対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	早川治			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				

授業概要

ミュージシャンとして必要なハーモニーとスケールの理論を学ぶ。

到達目標

前期に習得したコードの知識を活用し、コード・スケールについて学ぶ。より音楽を深く理解し、最終的に実際の作曲やアレンジや演奏にどう活かせるかを知る事を目的とする。同時に正しい音楽用語や記譜法を学び習得する。

授業方法

各回内容の講義動画を事前に視聴、予習し、指名された学生は模擬授業をおこなう反転学習とする。講師は必要に応じ内容の補足をするとともに、コミュニケーションスキルの観点からのアドバイスもする。□

成績評価方法

試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)

履修上の注意

専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方を持ち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

決定版音楽理論ワークブックポピュラー音楽を完全理解

回数	授業計画
第1回	〔前期の復習〕セカンダリー・ドミナント・コード
第2回	〔前期の復習〕セカンダリー・ドミナント・コード
第3回	経過和音とは

第4回	パッシング・ディミニッシュ・コード
第5回	パッシング・ディミニッシュ・コードと展開系
第6回	ディミニッシュ・スケール
第7回	ハーモニック・クリシェ
第8回	変和音と平行和音
第9回	コード・パターンとそのバリエーション
第10回	コード・スケールとは
第11回	[コード・スケール] コードトーン各コード毎に確認
第12回	[コード・スケール] テンションを各コード毎に確認
第13回	[コード・スケール] アボイドノートと短9度について
第14回	[コード・スケール] チャーチ・モードとコードスケール
第15回	総まとめ